津野香奈美

1.著書

1) 共著,産業医の職務Q&A編集委員会 （編著）,2025年05月,日本語,産業医の職務Q&A 第11版,5 職場におけるハラスメントへの対応,産業医学振興財団,279-283
2) 共著,松浦正子（編著）,2025年08月,日本語,任命！看護師長：実務にすぐ役立つ知識・スキル・マネジメント思考,【師長業務PART４】マネジメントとリーダーシップのバランス～看護師長が身に付けたいリーダーシップ,メディカ出版,162-170
3) 共著,田中堅一郎（編著）,2026年02月,日本語,認知的複雑性の向上による職場の偏見・差別解消の実践,ビジネス分野における人権侵害行為としてのハラスメント,風間書房,3章1節

2.学術論文

1) 原著論文,共著者,Sawada A, Tsuno K, Shiba K. ,2025年04月,英語,Gender Differences in Subjective Wellbeing in Japan: An Intersectionality Approach,査読あり,Journal of Happiness Studies,25,88,https://doi.org/10.1016/j.wss.2025.100270
2) その他（報告等）,共著者,村木真紀, 松高由佳, 青山郁子, 津野香奈美,2025年06月,日本語,すべてのセクシュアリティの人々が過ごしやすい環境をつくるために-職場,学校,地域の取組-,査読なし,Journal of School Mental Health,28(1),33-39,
–
3) 原著論文,筆頭著者,Tsuno K, Arimoto A, Imamatsu Y, Kobayashi Y, Satoh M, Miyazaki T,2025年08月,英語,Expressions of “Ikizurasa” in Posts on X (Formerly Twitter) in Japan in 2023: Descriptive Analysis,査読あり,JMIR Formative Research,9,e70613,10.2196/70613
4) 総説論文,筆頭著者・責任著者,津野香奈美,2025年08月,日本語,アカデミック・ハラスメントを科学する,査読なし,地球・宇宙・未来（三菱財団報）,2(1),123-130,10.60420/globeuniversefuture.2.1_123
5) 原著論文,共著者,Kobayashi Y, Imamatsu Y, Arimoto A, Takase K, Fusejima A, Tsuno K, Sugiyama T, Sannnomiya M, Miyazaki T. ,2025年09月,英語,Traditional gender role attitudes and job-hunting in relation towell-being: a cross-sectional study of Japanese women in emerging adulthood,査読あり,Int. J. Environ. Res. Public Health,22(9),1385,10.3390/ijerph22091385
6) その他（報告等）,共著者,三木明子, 津野香奈美, 小林敦子, 杉浦浩美,2025年11月,日本語,ハラスメントに関する近年の動向,査読あり,産業ストレス研究,32(4),315-320,
–
7) 原著論文,共著者,Hirai M, Sato S, Yamada T, Takeda N, Maruo K, Kitabatake Y, Tsuno K, Narimatsu H, Arao T, Nemoto Y. ,2026年03月,英語,Associations Between Neighbor

hood Environment and Physical Activity Among Older Adults with Varying Functional Capabilities: A Cross-Sectional Study in Tsuru City, Japan.,査読あり,Journal of Aging and Environment,Online,1-8,10.1080/26892618.2026.2644318,指導教員を務めた院生の修士論文を投稿したもの

8) 原著論文,共著者,Mase K, Tsuno K, Kuroda R, Imamura K, Kawakami N, Nishi D, Sasaki N.,2026年03月,英語,Impacts of being scolded at workplace on psychological distress among Japanese employees: a cross-sectional study.,査読あり,Environmental and Occupational Health Practice,Online,2025-0009,10.1539/eohp.2025-0009

3.その他の著作

1) 津野香奈美,2025年06月,過剰な主張にはどう対応すべきか　管理者を悩ませる「ハラスメント・ハラスメント」とは,みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 会員情報誌『Management Flash』,
-

2) 津野香奈美,2025年06月,御社では形骸化していませんか？管理者を悩ませる「ハラスメント・ハラスメント」への対応策,みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 会員情報誌『Management Flash』,
-

3) 津野香奈美,2025年07月,「＃私が退職した本当の理由」にまつわる考察―「セクハラ」する組織や個人はどのように変われるか,Voice,2025年7月号

4) 津野香奈美,2025年07月,カスタマーハラスメントの健康影響と組織への影響,（株）クオレ・シー・キューブの連載「科学的根拠をもとに進めるメンタルヘルス対策とハラスメント対策」,https://www.cuorec3.co.jp/info/thinks/tsuno_01_18.html

5) 津野香奈美,2025年07月,あの研究室を訪ねて：元東京医科大学 衛生学公衆衛生学講座 主任教授/公益財団法人 健康・体力づくり事業財団 理事長 下光輝一先生,行動医学研究,30(1): 30-42

6) 津野香奈美,2025年10月,被害者の訴えにどう対処すべきか「ハラスメント報告書の開示」を求められた場合の対応策,みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 会員情報誌『Management Flash』,
-

7) 津野香奈美,2025年10月,ＮＧパターンを認識しよう知っておきたい「セカンドハラスメント」防止策,みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 会員情報誌『Management Flash』,
-

8) 津野香奈美,2025年10月,パワハラ防止・解決には経営トップの覚悟が不可欠　「パワハラ上司を科学する」の著者が強調,「政経週報」「Kyodo Weekly」,33(40):4-7

4.学会発表等

1) 口頭,筆頭者・責任者,Tsuno K, Fusejima A, Takase K, Miyazaki T, Arimoto A,Gender role, help-seeking behavior, and depression among youth in Japan,The 18th International Congress of Behavioral Medicine,2025年08月
2) ポスター,共同研究者,向井智哉, 木村節子, 武田悠衣, 湯山祥, 岡田康子, 津野香奈美, カスタマー・ハラスメントの経験率と関連する要因―マルチレベル分析を用いた検討―,産業・組織心理学会第40回大会,2025年09月
3) 口頭,共同研究者,佐々木那津, 津野香奈美, 黒田玲子, 今村幸太郎, 江口尚, 島津明人, 川上憲人,職場における孤独感が６か月後の離職に関連する：E-COCO-Jコホート研究,第83回日本公衆衛生学会総会,2025年10月
4) ポスター,共同研究者,有本梓, 伊藤絵梨子, 赤塚永貴, 佐藤みほ, 津野香奈美, 今松友紀, 小林由美子, 三宮柾名, 宮﨑智之,若者の抑うつの変化と関連要因の探索:短期縦断研究(YURAGI-J),第83回日本公衆衛生学会総会,2025年10月
5) 口頭,筆頭者・責任者,津野香奈美,国際的な視点からみたDE＆I, 第33回日本産業ストレス学会 ,2025年11月
6) ポスター,筆頭者・責任者,Tsuno K, Saito M, Kurokawa A, Watanabe R,Regional Health Disparities in Kanagawa Prefecture: Multilevel Evidence from 300,000 Adults,The 36th Annual Scientific Meeting of the Japan Epidemiological Association & The 3rd Joint Scientific Meeting with the IEA Western Pacific Region,2026年02月
7) ポスター,共同研究者,Kobayashi Y, Arimoto A, Ito E, Akatsuka E, Sannomiya M, Fusejima A, Tsuno K, Takase K, Imamatsu Y, Sato M, Iwata Y, Sugiyama T, Miyazaki T,Psychological distress and mid-year resignations among young workers：YURAGI-J-Study, The 36th Annual Scientific Meeting of the Japan Epidemiological Association & The 3rd Joint Scientific Meeting with the IEA Western Pacific Region,2026年02月

5.学会, 協会, 公的団体の委員など

1) 日本産業ストレス学会,理事,2014.11～
2) 日本産業ストレス学会,評議員,2014.11～
3) 日本産業ストレス学会,編集委員,2015.1～
4) 労働時間日本学会,理事,2016.6～
5) 一般社団法人日本行動医学会,理事,2016.7～
6) 一般社団法人日本行動医学会,編集委員,2016.7～
7) 一般社団法人日本疫学会,疫学専門家,2020.3～
8) 公益社団法人日本産業衛生学会,編集委員,2020.4～
9) 一般社団法人日本行動医学会,国際交流委員会委員長,2020.7～
10) 一般社団法人日本疫学会,上級疫学専門家,2025.3～

11）一般社団法人日本疫学会,代議員,2023.6～
12）一般社団法人日本疫学会,疫学専門家認定筆記試験出題委員,2024.6～
13）一般社団法人日本疫学会,疫学専門家認定筆記試験ブラッシュアップ委員,2024.6～
14）公益社団法人日本産業衛生学会,代議員,2022.10～
15）公益社団法人日本産業衛生学会,Field Editor, Journal of Occupational Health,2023.4～
16）公益社団法人日本産業衛生学会,Field Editor, Environmental and Occupational Health Practice,2023.4～
17）神奈川県立循環器呼吸器病センター,研究倫理審査委員,2020.9～
18）神奈川県立循環器呼吸器病センター,倫理委員,2020.9～
19）神奈川県,生活習慣病対策委員会委員,2021.4～
20）神奈川県,生活習慣病対策委員会かながわ健康プラン21目標評価部会委員,2021.4～
21）神奈川県相模原市,参与,2021.4～
22）東京都港区,男女平等参画苦情処理委員,2020.9～
23）東京都目黒区,男女平等・共同参画オンブーズ,2022.4～
24）神奈川県小田原市,ハラスメント対策推進アドバイザー,2022.10～
25）株式会社クオレ・シー・キューブ,人と場研究所所長,2023.7～
26）PLOS,Editor, PLOS Mental Health,2023.11～
27）一般財団法人厚生労働統計協会,「医療職のための統計セミナー事業」事業協力者,2023.4～
28）一般社団法人日本公衆衛生学会,代議員,2023.9～
29）日本産業ストレス学会,DE&I推進委員会委員,2024.7～
30）日本産業ストレス学会,研究推進委員会委員,2024.7～
31）一般社団法人日本疫学会,上級疫学専門家,2025.3～

6.社会貢献
1）神奈川県生活習慣病対策委員、かながわ健康プラン21目標評価部会委員として県民の健康の保持増進施策への助言,通年
2）神奈川県相模原市参与として風通しの良い職場づくりへの助言,通年
3）神奈川県小田原市 ハラスメント対策への助言,通年
4）東京都目黒区男女平等・共同参画オンブーズとして市民からの相談対応実施,通年
5）東京都港区男女平等参画苦情処理委員として市民からの相談対応実施,通年
6）株式会社クオレ・シー・キューブ人と場研究所所長として、企業での調査データの取りまとめやeラーニングの監修、研修開発,通年
7）株式会社代表取締役として研究成果を基にしたコンサルティング・助言・研修等を実施,通年

8）株式会社ピースマインドとインシビリティ・シビリティ関連の研修を開発し監修,通年
9）大阪大学非常勤講師として学部生に講義実施,2025.9
10）東京大学職場のメンタルヘルス専門家養成プログラム基礎コースに講師として登壇,2025.10
11）厚生労働省 過労死等防止対策推進シンポジウムへの登壇（6会場＋インターネット会場）,2025.11
12）東京法規出版のハラスメント解説DVDを監修,2025.12
13）慶応義塾大学湘南藤沢キャンパスにて学部生向けに講義実施,2026.1

7.講演, 放送
1）朝日新聞「スマホからたどった息子の死　「新入社員に困難なノルマ」と労災認定」,2025.4.9,https://www.asahi.com/articles/AST4822B6T48PTIL01PM.html
2）HUFFPOST「認め合いが「働きがい」をつくる。イノベーションに「リスペクト」が必要な科学的理由」,2025.4.23,https://www.huffingtonpost.jp/entry/respect-in-the-workplace_jp_67fdc4e1e4b070cabdc400ff?utm_campaign=share_twitter&ncid=engmodushpmg00000004
3）朝日新聞「(論点)首長のハラスメント」,2025.5.2,https://mainichi.jp/articles/20250502/ddm/004/070/007000c
4）熊本日日新聞「セクハラは会話や交流の延長？」,2025.6.7,https://kumanichi.com/articles/1793600
5）都政新報「神奈川県立保健福祉大学大学院・津野香奈美教授に聞く㊤公務のハラスメント、減らぬ理由は」,2025.6.17
6）都政新報「神奈川県立保健福祉大学大学院・津野香奈美教授に聞く㊦上位職ほどパワハラのリスク」,2025.6.20
7）わくわくT-PEC「【前編】企業に求められるハラスメント対策と適切な対応 ～日本におけるハラスメントの現状～」,2025.8.28,https://t-pec.jp/work-work/article/510
8）わくわくT-PEC「【後編】企業に求められるハラスメント対策と適切な対応 ～女性活躍推進を目指したハラスメント対策～」,2025.8.28,https://t-pec.jp/work-work/article/511
9）NHKあさイチ「”グレー”なハラスメント！？あなたは大丈夫？不機嫌・ため息･･･」,2025.10.27,https://www.web.nhk/tv/an/asaichi/pl/series-tep-KV93JMQRY8/ep/XRXJK6YWJY
10）NHK、ニュース「過労死防止へ遺族が訴え“親は子どもの最後のとりでになって”」,2025.11.7,https://news.web.nhk/newsweb/na/na-k10014970031000
11）中日新聞「パワハラない職場づくりへ　金沢 過労死防止推進シンポ」,2025.11.13,https://www.chunichi.co.jp/article/1163419?rct=k_ishikawa
12）日本の人事部「ちょっとした「無礼」が離職を招く　ハラスメントグレーゾーンの「インシビリティ」とは,2026.3.13,https://jinjibu.jp/article/detl/keyperson/4026/

13）日経BizGate「日本メドトロニック　「職場のリスペクト」が事業で成果」,2026.3.30,https://bizgate.nikkei.com/article/DGXZQOLM2300X023032026000000
14）変容資源研究所、クロストーク「職場で加害者と呼ばれる人への組織としての対応」,2025.5.31
15）陸上自衛隊施設学校幹部一般課程学生向けハラスメント研修「パワハラ上司にならないために」,2025.6.2
16）株式会社講談社 2025年度全社員向けハラスメントセミナー「ハラスメントが起きない職場をつくるには」,2025.6.24
17）成城大学「人はなぜパワハラをするのか　_x000B_～パワハラ上司の心理学的分析～」,2025.7.2
18）滋賀県立大学「管理職・教職員のためのパワハラ講座：パワハラ・アカハラせずに部下や学生を成長させるには」,2025.8.29
19）相模原協同病院「ハラスメント防止のために管理者がやるべきこと＆ハラスメントにならない部下指導のコツ」,2025.9.6
20）福島県警察メンタルヘルスセミナー「メンタルヘルス不調者を出さない組織作り」,2025.9.9
21）大阪大学、健康・医療心理学　行動医学・健康行動論「精神疾患の予防」「身体疾患の予防」,2025.9.10
22）一般社団法人経営研究所　人事部門責任者フォーラム9月例会「パワハラへの科学的アプローチ：パワハラとは何か？どうやって防ぐか？」,2025.9.22
23）相模原市消防局　風通しの良い職場風土醸成研修「風通しの良い職場づくりを目指して～指導とハラスメント～」,2025.10.2
24）2025年度東京大学職場のメンタルヘルスコース「職場のメンタルヘルスの専門家としてハラスメント問題に対応するには」,2025.10.15
25）（株）クオレ・シーキューブ相談員講和「近年の働く人のメンタルヘルスとハラスメントの状況」,2025.10.20
26）Japan Oral Physician（JOF）チームミーティング「クリニックの生産性をみんなで高めるヒケツとは_x000B_ ～パワハラ予防とチームビルディング～」,2025.10.26
27）厚生労働統計協会　第16回　医療職のための統計セミナー　実施する前に知りたい社会調査の基礎「社会調査の企画と調査票の作成」,2025.11.1
28）令和7年度過労死防止対策推進シンポジウム岩手会場「パワハラの発生は予防できるのか？過労死のない社会を目指して」,2025.11.6
29）令和8年度過労死防止対策推進シンポジウム茨城会場「パワハラの発生は予防できるのか？過労死のない社会を目指して」,2025.11.7
30）令和9年度過労死防止対策推進シンポジウム石川会場「パワハラの発生は予防できるのか？過労死のない社会を目指して」,2025.11.11
31）令和10年度過労死防止対策推進シンポジウム長野会場「パワハラの発生は予防できるのか

？過労死のない社会を目指して」,2025.11.14

32) 令和11年度過労死防止対策推進シンポジウム鳥取会場「パワハラの発生は予防できるのか？過労死のない社会を目指して」,2025.11.21

33) 令和12年度過労死防止対策推進シンポジウム東京会場「パワハラの発生は予防できるのか？過労死のない社会を目指して」,2025.11.26

34) 海上保安庁「パワハラになる指導とならない指導のコツ～分析と対策～」,2025.12.9

35) CIPプロジェクト会議「神奈川県における健康の地域格差要因の解明プロジェクト（2023～2025）」,2025.6.25

36) CIPプロジェクト会議「神奈川県における健康の地域格差要因の解明プロジェクト（2023～2025）」,2026.2.26

37) 総務省消防大学校幹部科「ハラスメント対策」,2026.2.25

8.学会等での活動

1) 第33回日本産業ストレス学会　ワークショップ座長,2025.11.28

2) The 36th Annual Scientific Meeting of the Japan Epidemiological Association & The 3rd Joint Scientific Meeting with the IEA Western Pacific Region Oral Presentation座長,2026.1.30

9.学内教育活動

1)学部

『公衆衛生学Ⅰ』（栄養学科）で1回講義を実施,2026.1

『公衆衛生学Ⅱ』（栄養学科）で2回講義を実施,2025.11

2)博士前期課程

『健康行動科学』（ヘルスイノベーション研究科）科目責任者として15回の講義実施,2025.4～2025.7

『健康行動科学』（ヘルスイノベーション研究科）レポート採点,2025.8

『社会健康学・社会疫学』（ヘルスイノベーション研究科）科目責任者として15回の講義実施,2025.10～2025.11

『社会健康学・社会疫学』（ヘルスイノベーション研究科）レポート採点,2025.12～2026.1

『産業保健学』（ヘルスイノベーション研究科）にて講義実施,2025.10～2025.11

『産業保健学演習』（ヘルスイノベーション研究科）にて講義実施,2025.4～2025.6

『ヘルスイノベーション演習基礎』（ヘルスイノベーション研究科）にて15回の講義実施,2025.11～2026.3

『ヘルスイノベーション演習』（ヘルスイノベーション研究科）にて研究指導実施,通年

修士課程の研究指導：指導教員担当学生6名、指導補助教員担当学生４名,通年,うち留学生

2名

3)博士後期課程

『パブリックヘルスリーダーシップ特講』（ヘルスイノベーション研究科）にて2回講義実施,2025.5

博士課程の研究指導：指導補助教員担当学生1名,通年

10.学内各種委員会活動

1）ヘルスイノベーション研究科 研究倫理審査委員会委員,2019.4～
2）ヘルスイノベーション推進研究助成 選考委員会委員,2022.5～
3）ヘルスイノベーション研究科 研究倫理審査委員会委員長,2023.4～2025.3
4）ヘルスイノベーション研究科 アントレプレナーシップ担当教員選考,2024.9～2025.4
5）全学教学IR推進部会　委員,2025.4～
6）ヘルスイノベーション研究科 教務・学生委員会委員,2025.4.～

11.科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

1）JST,分担者,宮崎智之，津野香奈美ほか,若者の生きづらさを解消し高いウェルビーイングを実現する共創拠点,800千円,2022.11.1,2031.3.31
2）基盤研究（B）,分担者,大塚泰正，津野香奈美，松高由佳，飯田順子,地域住民を対象としたオンデマンド型LGBTQ+理解促進プログラムの開発,18,460千円,2023.4.1,2026.3.31
3）基盤研究（C）,分担者,田中堅一郎，津野香奈美，山本真菜,認知的複雑性の醸成による職場のジェンダー・ハラスメント抑制に関する実験的研究,3,380千円,2023.4.1,2026.3.31
4）厚生労働科学研究費補助金,分担者,横山和仁，武藤剛，中田光紀，和田 裕雄，津野香奈美,井村 真己,個人事業者等の健康管理に関する実態把握に資する研究,23,920千円,2025.4.1,2027.3.31
5）基盤研究（C）,分担者,横山和仁，武藤剛，津野香奈美，中田光紀,柔軟な働き方の健康影響におけるSEWBとセルフケアの役割：JD-Rモデルの応用,4,680千円,2025.4.1,2028.3.31

12.学内研究助成金の受託

1）ヘルスイノベーション推進研究費,代表者,津野香奈美，渡邊亮，黒河昭雄，佐藤泉美,神奈川県における健康の地域格差要因の解明,1,000千円,2023.4.1,2026.3.31

13.受賞

14.特許など

15.その他